

議席7番

渡邊

昇 議員



消防車について

Q 来年度消防自動車の買替の予定はあるのか伺う。

A 8車両中、特に第1分団、第2分団への配備車両は20年が経過しており計画的な買替が必要であると考えているが、運転免許制度が改正となり新入団員が運転できなくなる問題があることから、消防団と協議を行い要望等が整い次第、検討して行きたい。

(総務部長)



水害対策について

Q 利根川の堤防が決壊した場合に避難する二ヶ所の高校に静地区の割りあて等の方向性について伺う。

A 総和工業高校への避難が最も理想的であると考えているが、調査委員会等でさらに検討を重ねていくと共に、町が要望している河川防災ステーションの建設も予定されていることから、静地区の避難所として適していると思えますので、今後地域に即した避難計画を策定して行きたい。

(総務部長)

農業問題について

Q 来年度からの米作りの政策について町のあり方を伺う。

A 当町は、従来より農業者から個別に提出の営農計画書に、「生産数量目標に相当する数値」として記載をし、目標数量を周知すること、過剰作付を回避したいと考えている。

米の価格下落が危惧される来年以降につきましても、付加価値の高い米の生産や新しい市場の拡大に取り組み、農業経営を支援してまいりたいと考えている。

(建設農政部長)

Q 所得補償制度に代わる、小規

模農家に対する支援策はあるのか伺う。

A 30年産米より廃止されることになり、現状では、これに代わる情報はない。(建設農政部長)

議席1番

鈴木 英明 議員



公共交通網の整備の取り組みについて

Q 運行開始した高速バスの成田空港線の利用状況について。

A 公共交通網の充実に向け3年前から高速バスターミナルの誘致活動を進めてきた。成田空港行きは7便、境町行きは9便、毎日運行している。11月の1ヶ月間の利用者は成田空港行き206人、境町行き146人と利用状況は順調である。

(秘書公室長)

Q 境古河バスターミナルから将来的に都心への高速バスの運行に対する町の取り組みについて。

A 都心への高速バス路線誘致については、関東自動車株式会社では成田空港線の利用状況などを踏まえた中で検討するとの事である。今後も境古河バスターミナルを拠点とした都心への高速バス誘致に積極的に取り組んでいく。

(秘書公室長)

道路の管理維持について

Q 下小橋交差点から宮本町交差点国道354号線における大型車両通行時における振動対策について。

A 国道は、県境工事事務所が管轄で維持管理上の補修工事は県が施工することになっている。補修工事は対策工法や優先順位を決め町と協議しながら補修工事を実施していく。

町としては、必要な予算の確保の働きかけと地域の方の思いを県の方へ届けたいと考えている。

(建設農政部長)

